

テラセルウォール工法

～ ジョグリッド併用型 テラセル擁壁工法 ～



セル状壁面工のテラセル®とジョグリッドを用い、壁面工および補強材、盛土材料が相互に拘束し一体となって挙動することで、一つの土構造物としての安定を図る工法です。

■ 工法概要

テラセルウォール工法は、セル状壁面工のテラセル枠とジョグリッドを基本部材とし、従来のテラセル積層形式の断面領域から、土との摩擦による引抜き抵抗力が発揮されるジョグリッドを敷設することでその補強領域全体が一体化された土構造物のもたれ式擁壁工法です。

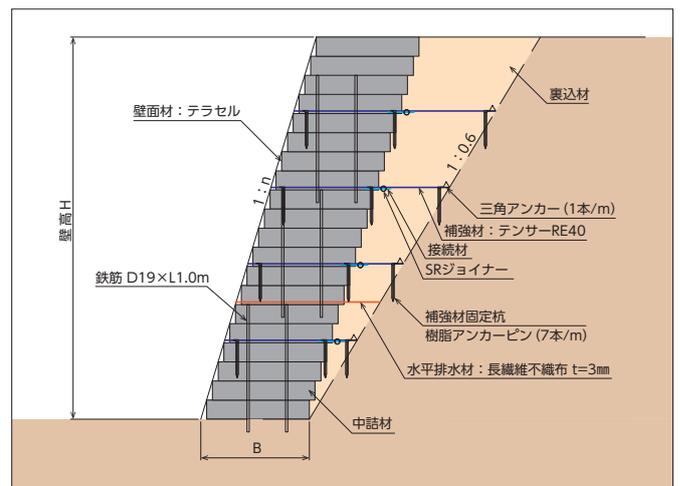
※本工法は、実物大実証実験により安定性の効果を確認しております。

■ 特長

- コンパクトな断面形状により、従来の補強土壁工に対して掘削土量が削減でき、周囲への掘削影響の支障の問題の回避や、トータル的に経済性に優れた提案が可能です。
- 壁面を形成するテラセル、補強材ジョグリッド、ともに高密度ポリエチレンを原料としているため高い耐久性を有しており、また耐薬品性においても優れています。
- 上記のように樹脂製原料部材が工法の主要部材となることから、軽量であるため作業員への負担を軽減でき、場内運搬や狭小地の施工が人力で行えるなどの優位性もあります。

■ 適用範囲

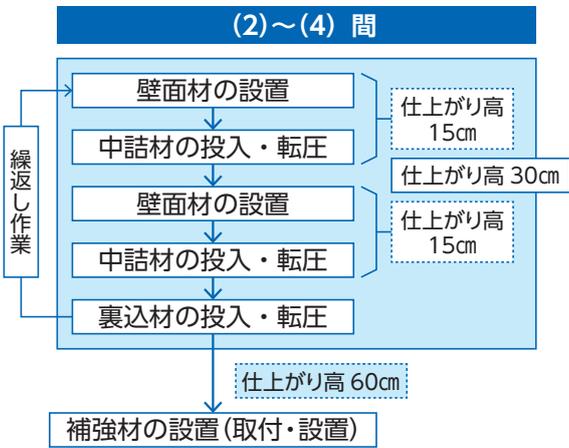
- 壁高さはH=5.0m程度まで
- 積勾配は1:0.3～緩い勾配
- 盛土材は良質土(砂質土、レキ質土、砕石などの締固め度90%以上が可能なもの)を対象とし、粘性土などへの適用は不可とする。
- 背面に安定した(堅固な)地山面を有した箇所での適用とする。



■ 製品の種類と関連部材

材料名称	商品名	単位	規格
補強材(ジョグリッド)	テンサー RE-40	m ²	W=1.0m、L=30m
壁面材(テラセル)	TW-150M	m ²	H=0.15m、B=0.8m、L=2.65m
排水材(不織布)	トレップ TT-300	m ²	W=1.0m、L=50m
	タフネル EX-60		
固定杭	樹脂アンカーピン	本	□20、L=300mm
壁面材・補強材接続材	SRジョイナー	本	W=45mm、L=1.0m
接続材(溶接金網)	接続材	枚	Φ5mm、b=0.2m、L=1.0m
三角アンカー	—	本	L=1.0m
土のう	ジオセルバッグ	袋	—
鉄筋アンカー	—	本	L=1.0m、(D19)
端部処理(サイドガード)	TW-150M-SG	枚	H=0.15m、L=3.6m

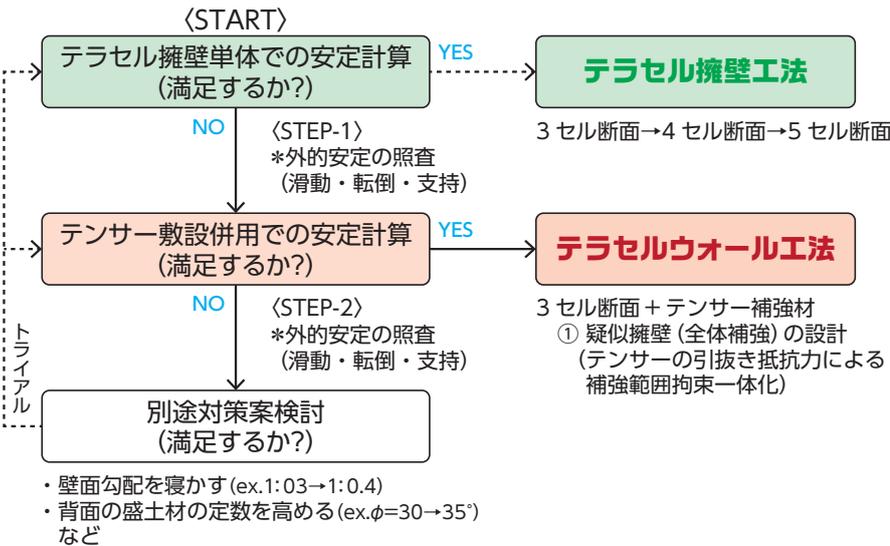
■ 施工フロー



■ 代表的な施工例



■ 設計フロー



■ 実物大実証実験状況



東京インキ株式会社
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

<http://www.tokyoink.co.jp>

本社 / 〒114-0002 東京都北区王子 1-12-4 TEL.03-5902-7627
 札幌営業所 / 〒065-0020 札幌市東区北二十条東 18-2-1 TEL.011-784-7772
 仙台営業所 / 〒980-0801 仙台市青葉区木町通 2-1-18 TEL.022-274-3531
 新潟営業所 / 〒950-0087 新潟市中央区東大通 1-2-25 TEL.025-245-3141
 名古屋支店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山 1-12-14 TEL.052-331-1515
 大阪支店 / 〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町 1-28 TEL.06-6761-0077
 広島営業所 / 〒732-0827 広島市南区稲荷町 5-18 TEL.082-568-4400
 福岡支店 / 〒816-0912 福岡県大野城市御笠川 3-13-5 TEL.092-503-8979